

# ソーシャルワーク論

《履修上の留意事項》社会福祉士および精神保健福祉士受験資格取得の指定科目である（詳細は備考欄参照）

《担当者名》○橋本 菊次郎 hashimoto-kiku@hoku-iryo-u.ac.jp 高橋 亮

## 【概要】

この講義では、ソーシャルワークの基盤と専門職としてのあり方について、以下の点を中心に学ぶ。

社会福祉士（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）および精神保健福祉士の意義と役割について学ぶ。

相談援助の概念と理念について学ぶ。

相談援助における権利擁護の意義と範囲について学ぶ。

相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について学ぶ。

総合的かつ包括的な援助と多職種連携に意義と内容について学ぶ。

## 【学修目標】

社会福祉専門職の意義と役割について具体的に説明できる。

権利擁護の意義と範囲について具体的な問題点を列挙し説明ができる。

専門職倫理にもとづく判断や行動のありかたについて説明ができる。

相談援助の概念と範囲、理念について具体的に考えることができる。

包括的援助のための多職種連携について具体的に説明ができる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	相談援助に係る専門職の概念	社会福祉士および精神保健福祉士の専門職について概観する	橋本
2	ソーシャルワークの価値と倫理	専門職倫理の概念を概説できる	橋本
3	ソーシャルワークの価値と倫理	ソーシャルワークの構成要素について説明できる	橋本
4	ソーシャルワークの価値と倫理	倫理綱領の意義と内容および活用方法を概説できる	橋本
5	ソーシャルワークの新しい価値基盤	ソーシャルワークにおける権利擁護のがらみと範囲について概説できる	橋本
6	ソーシャルワークの新しい価値基盤	専門家による権利侵害（事例を用いた権利侵害が発生する要因や構造）について概説できる	橋本
7	専門職倫理と倫理的ディレンマ	倫理的ディレンマが生じる構造とそれへの対処について概説できる	橋本
8	専門職倫理と倫理的ディレンマ	倫理的ディレンマ事例の検討 事例検討を通して、倫理的ディレンマが生じる構造とそれへの対処について説明できる	橋本
9	専門職倫理と倫理的ディレンマ	倫理的ディレンマ事例の検討 事例検討を通して、倫理的ディレンマが生じる構造とそれへの対処について説明できる	橋本
10	総合的かつ包括的な援助と多職種連携  中間まとめ	ジェネラリスト視点（ミクロ・メゾ・マクロ）と包括的援助の意義と内容について説明できる  専門職の在り方、ディレンマ、権利擁護の意義について学習を深める	橋本
11	ソーシャルワークの対象と担い手	全体像の把握からソーシャルワークにつなぐ	高橋
12	ソーシャルワークの対象と担い手	・福祉行政等における専門職の機能と役割について概説できる ・民間の施設・組織における専門職の機能と役割について概説できる ・医療分野で働く専門職の昨日とその役割について概説できる	高橋

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
13	ソーシャルワークの対象と担い手	社会福祉士・精神保健福祉士に関連する職種について概説できる	高橋
14	ソーシャルワークの対象と担い手	・ソーシャルワーク実践の場と職種について概説できる ・新たな拡がり（司法福祉・スクールソーシャルワーク）の現状と課題を説明できる	高橋
15	総合的かつ包括的な援助と多職種連携 まとめ	チームアプローチ・多職種連携の意義と内容について理解する  後期授業の要点整理	高橋

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（筆記試験）により100%評価する。

【教科書】

『社会福祉学習双書』編集委員会 「第9巻 ソーシャルワークの基盤と専門職（学習双書2026）」全国社会福祉協議会

【参考書】

岩崎晋也他監修『ソーシャルワークの基盤と専門職』ミネルヴァ書房

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座11 ソーシャルワークの基盤と専門職 [共通・社会専門]』中央法規出版

【備考】

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」に該当する。また、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「ソーシャルワークの基盤と専門職」に該当する。  
教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「社会福祉援助技術」に該当する。

【学修の準備】

指定した教科書の該当部分を事前に読んでおくこと（予習2時間）

授業内で示した課題等について復習し、教科書および配布したレジュメにより復習し、学びを深める（復習2時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【実務経験】

橋本菊次郎（精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

ソーシャルワーカーの価値や倫理を基盤とした、ソーシャルワークの展開の在り方に関する基礎知識を講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している